

第1回

岐阜市教育振興基本計画検討委員会

事務局説明・提案

H29. 6. 7

目次

①

1. 岐阜市教育振興基本計画
2. 教育委員会の諮問の概要
3. ご議論頂きたいこと①

参考1. 留意事項③の補足：点検評価の状況

4. 様々なニーズ
5. 3つの大きな柱立て(案)
6. アウトライン(案)

②

7. ご議論頂きたいこと②

参考2. 国の資料から抽出した骨子

参考3. 3つの柱立て(案)と「5つの基本的な方針」の関連性

参考4. 3つの柱立て(案)と現行計画の関連性

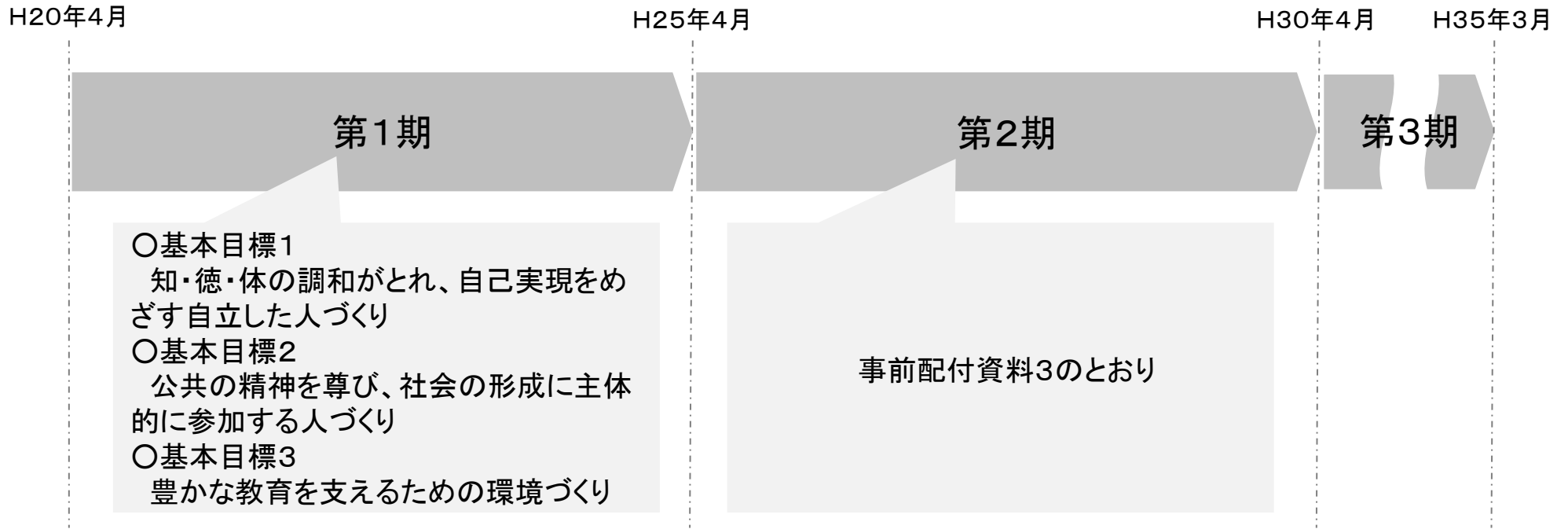
8. 次回会議にてお示しする課題
-

1. 岐阜市教育振興基本計画

※

▼ 教育基本法(平成18年法律第120号)第17条第2項の規定に基づき、
地方公共団体が定めるよう努めるものとされている教育の振興のための基本的な計画

▼ 岐阜市のこれまでの策定経過と計画概要は下図のとおり



※

第17条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

2. 教育委員会の諮問の概要

▼ 平成29年第5回定例会(4月26日)に上程し、下記概要のとおり決議

■ 諮問事項

**「岐阜市教育大綱」や「コンパス・キューブ」を踏まえた、
今後5年間の教育政策の目指すべき方向性及び主な施策について**

■ 審議に際しての留意事項

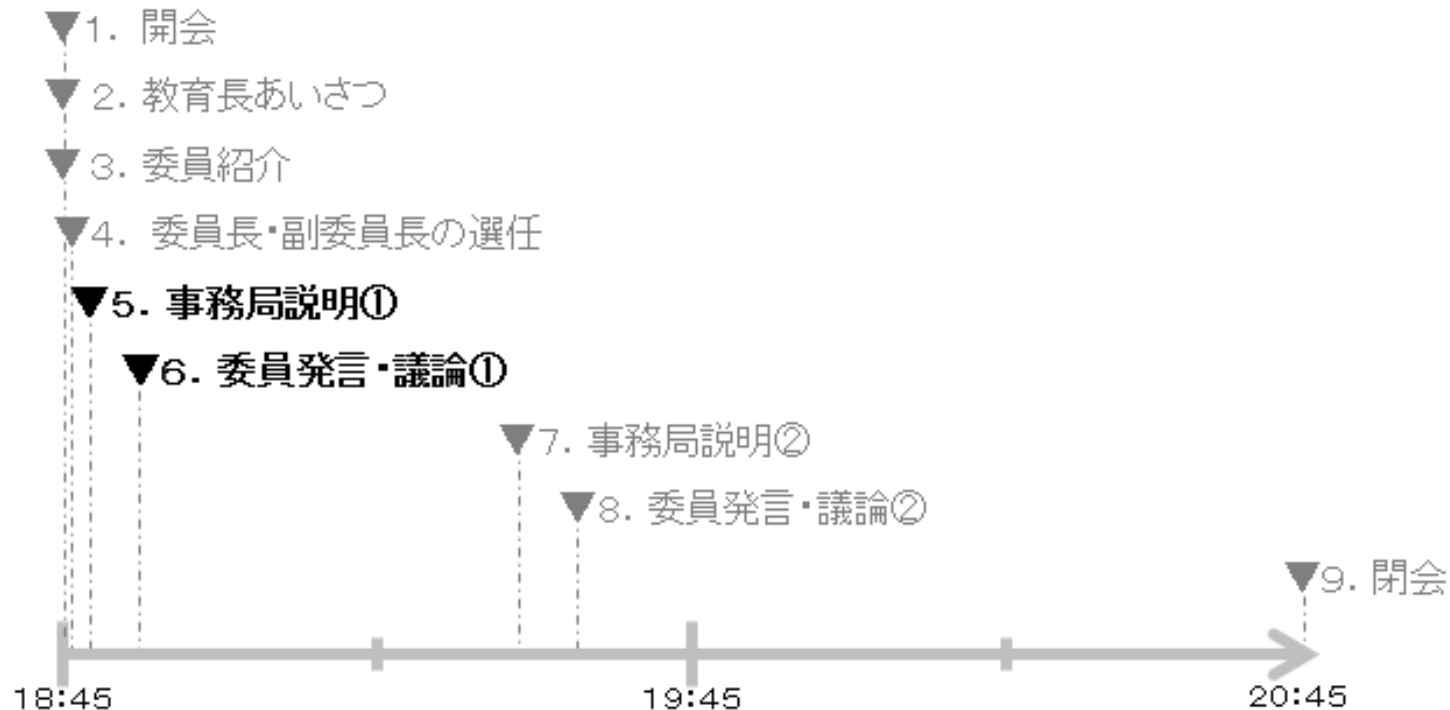
- ① 変化の激しい社会を生き抜くため、心と体の健やかな成長を促すことの重要性
- ② 施策の目的や対象を、市民の皆様に分かりやすく示すための工夫
- ③ 現行計画の点検評価状況を踏まえ、重点施策において目標・指標を設定し、
(中略)事務の点検及び評価に役立てること

■ 理由

1. 岐阜市は、「教育立市」を標榜、国や他の自治体に先駆けた教育施策に取り組んできた
○平成25年3月に策定した第2期教育振興基本計画に基づき、様々な施策を実施
・英語教育(小学校1年生からの教科化、イングリッシュ・キャンプ) など
2. 一方で、未知の時代の到来(IoTや人工知能の加速度的な発達、高齢化社会等)
○社会の変化に対処できる力を身につけるための教育が求められている
○岐阜市の子どもたちは義務教育終了段階の学力が高い水準にある一方、意欲や志といった熱意(パッション)が低調
3. 状況を踏まえ、市長が「岐阜市教育大綱」を教育委員会と協議の上策定、「果敢に挑戦できる子どもを育む」ことを掲げた
○教育委員会においても、教育により育むことを目指す資質・能力についての「コンパス・キューブ」モデルを作成
・コンテンツ(基本的な知識や技能)、パッション(学びに向かう力等)、スキル(思考力、判断力、表現力等)を
立方体の3つの軸として捉え、それらをバランスよく育むことを重視
○また、平成29年度からは「スーパーシニア“ぎふっ子応援”事業」を開始
・シニアの生きがいと子どもの豊かな学びの接点づくりを通じて、子どもの自己肯定感を醸成し、夢や目標を育む
4. 審議に際しての留意事項(上記)

3. ご議論頂きたいこと①

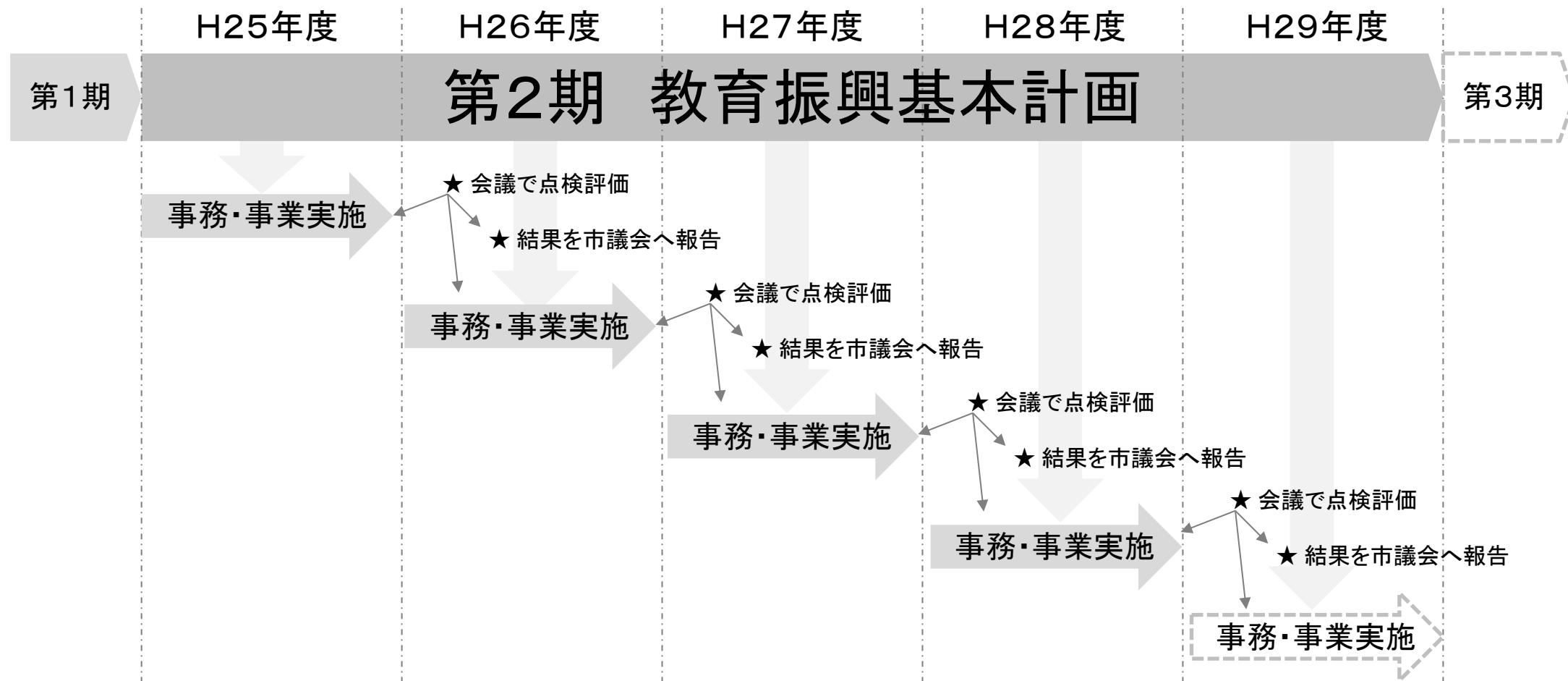
- ▼ 次期計画の前提となる時代認識
- ▼ AI等の技術革新が社会に及ぼす影響
- ▼ 現在の岐阜市の教育に関する認識
- ▼ 岐阜市が教育について掲げる理念や方向性
- ▼ 岐阜市の教育施策への期待



参考1. 留意事項③の補足：点検評価の状況

- ※
- ▼ 毎年、外部の有識者によって構成される会議において前年度の施策の状況を点検評価している
- ▼ 結果を市議会（9月議会）へ報告するとともに施策の改善・見直しを実施している

■ 図：これまでの点検評価の状況



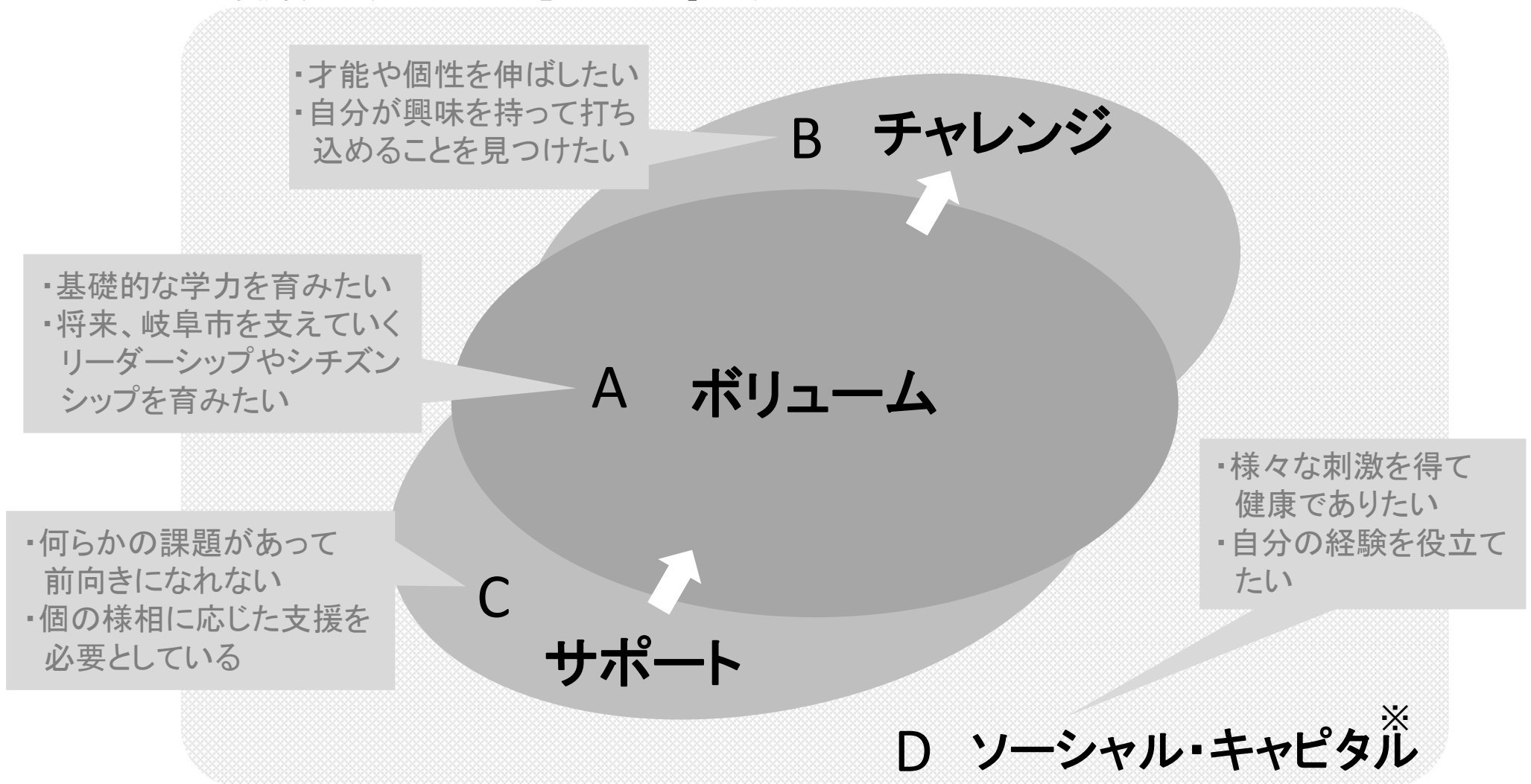
※委員3人以内で組織しており大学教員等が参画（岐阜市教育委員会事務点検評価委員会）、事前配付資料7参照

4. 様々なニーズ

▼ 市教委が行う様々な施策に対するニーズ(顕在・潜在)を視覚的に整理

▼ ニーズは個々に異なり、個人の内でも場面によって異なるため、重なり合った図形で表現

※ 市教委作成、以下「ニーズを整理した図」という



※ソーシャル・キャピタル(社会関係資本): 社会・地域における人々の信頼や結びつき

5. 3つの大きな柱立て(案)

▼施策に対するニーズを念頭に置いた3つの柱立てにより、施策の目的を分かりやすく示すことが可能

	ターゲット	キーワード	関連施策
<p>柱1 → B.チャレンジ</p> <p>柱2 → A.ボリューム, C.サポート</p> <p>柱3 → D.ソーシャル・キャピタル</p>	メイン:A サブ:B・C	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル社会で活躍 ・夢と自信を持ち可能性に挑戦 ・豊かな心、健やかな体 	<ul style="list-style-type: none"> ・アゴラ ・英語教育 ・コミュニティスクール ・ICT教育 etc...
	メイン:B・C サブ:A	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた教育や支援 ・多様な力、突出した才能 ・セーフティネットの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギフトイド ・ジュニアアーティスト ・中青(若者支援) ・エールぎふとの連携 etc...
	メイン:D サブ:A・B・C	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習、スポーツ振興 ・伝統や文化の継承、活用 ・ソーシャルキャピタルの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、科学館、歴史博物館 ・各種スポーツイベント ・信長公、鶉飼等 ・スーパーシニア etc...

6. アウトライン(案)

- ▼「岐阜市教育大綱」や「コンパス・キューブ」を冒頭に掲げ、基本理念であることを強調
- ▼ 基本的方向性として3つの柱立てを規定し、具体的な施策や施策のあり方を記載

■図: 答申のアウトライン

1. 基本理念: 「岐阜市教育大綱」や「コンパス・キューブ」

2. 基本的方向性

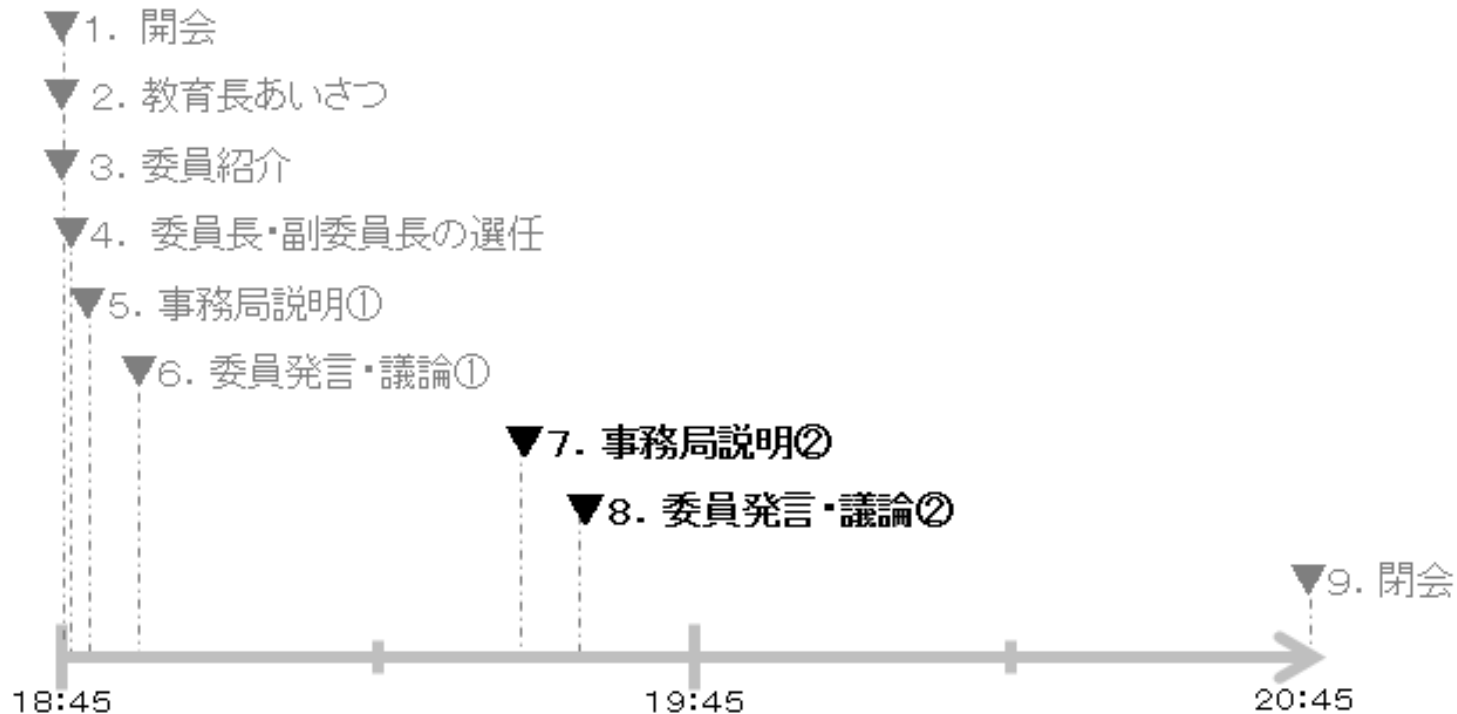
柱1. 主にボリュームをニーズとする施策や施策のあり方

柱2. 主にチャレンジ及びサポートをニーズとする施策や施策のあり方

柱3. 主にソーシャルキャピタルをニーズとする施策や施策のあり方

7. ご議論頂きたいこと②

- ▼ 市が整理した施策に対するニーズの捉え方
- ▼ ニーズを念頭に置いた柱立ての捉え方
- ▼ 3つの大きな柱立て(案)及びアウトライン(案)



参考2. 国の資料から抽出した骨子

▼ 国の「5つの基本的な方針」の概要は下記のとおり

5つの基本的な方針		抽出したキーワード
1	夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する	主体的に社会に参画していくための力／学校で学ぶことと社会との接続／生きる力／知・徳・体の育成の現代的な意義／主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」の視点）／カリキュラム・マネジメント／豊かな心や健やかな体を育む／いじめや不登校など生徒指導上の諸課題／キャリア教育・職業教育／学校と地域の連携・協働／障がいのある子供への対応／日本語能力が十分でない子供への対応／多様な人材と協働する力の育成
2	社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する	優れた才能の伸長を含め、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばしていく／英語をはじめとする外国語教育を強化／イノベーションを牽引する人材の育成（理数分野を含め専門性の醸成／創造性を育む教育）／スポーツや文化芸術分野に秀でた人材の育成（子供のうちから本物の専門家に会う機会の充実）
3	生涯学び、活躍できる環境を整える	一人一人が活躍していくための学びの継続／社会人の学びの継続・学び直しの推進／障害者の自己実現を目指す生涯学習の推進／人生100年を見据えた「二つ目の人生を生きる力」の養成
4	誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する	全ての人々が教育を受けられる機会の確保（教育費の負担軽減／多様なニーズを持つ子供が必要な教育を受けられる）／学校・家庭・地域が連携した教育格差への対応（家庭・地域の教育力の充実）／学校を子供の貧困対策のプラットフォームと位置付け、学校教育による学力保障を図る／学校を窓口とした福祉関係機関との連携／地域住民等の協力による学習支援）／地域の多様な教育資源を効果的に活用し、親子の状況等に応じたきめ細かな対応を行い、教育機会の格差を解消していく
5	教育政策推進のための基盤を整備する	学校指導体制の整備（小学校専科指導／専門スタッフと連携・分担する体制作り／業務の適正化）／ICTの利活用（授業・学習面と校務面の両面で積極的に活用／児童生徒一人一台の教育用コンピュータ環境）／国公立学校施設の耐震化はおおむね完了した一方で、老朽化が深刻化／自らの安全を守るための能力を身に付けさせる安全教育を推進／学校図書館、社会教育施設等の教育環境の充実

骨子

従来の教育
＋
新たな課題

才能を伸ばす
＋
外国語教育強化

ライフサイクル
の変化を見据えた
生涯学習

教育機会確保のための
経済的支援
＋
地域等と連携した
学力保障・教育機会の
格差解消

教員の負担を軽減する
ための人的支援
＋
教育のICT化等

参考3. 3つの柱立て(案)と「5つの基本的な方針」の関連性

▼ 3つの柱立て(案)は「5つの基本的な方針」の対象領域を網羅している

次期計画の柱(案) 5つの基本的な方針	柱1	柱2		柱3
	A.ボリューム	B.チャレンジ	C.サポート	D.ソーシャル・キャピタル
1. 夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する	◎	○	○	
2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する	○	◎	○	
3. 生涯学び、活躍できる環境を整える	○	○	○	◎
4. 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する			◎	○
5. 教育政策推進のための基盤を整備する	○	○	○	○

※関連性が高いと考えられる順に◎、○を記載している

参考4. 3つの柱立て(案)と現行計画の関連性

▼ 3つの柱立て(案)は現行計画の対象領域を網羅している

次期計画の柱(案) 現行計画の柱	柱1 A.ボリューム	柱2 B.チャレンジ C.サポート		柱3 D.ソーシャル・キャピタル
1. グローバル社会で活躍できる人材の基礎的能力の育成	◎	○	○	
2. 学びや育ちのセーフティネットの構築	○		◎	
3. 地域コミュニティのもつ教育力の積極的活用	◎	○	○	◎
4. 「岐阜に生まれて、育って、住んでよかった！」と実感できる生涯学習・スポーツの振興	○			◎

※関連性が高いと考えられる順に◎、○を記載している

8. 次回会議にてお示しする課題

- ▼ 現行計画の分析に関すること
- ▼ 目標や指標の設定に関すること